

1.	③	11.	②	21.	①	31.	④	41.	④
2.	①	12.	③	22.	①	32.	②	42.	④
3.	③	13.	④	23.	④	33.	②	43.	②
4.	④	14.	②	24.	③	34.	②	44.	②
5.	③	15.	④	25.	③	35.	④	45.	②
6.	②	16.	①	26.	②	36.	③	46.	②
7.	④	17.	③	27.	②	37.	④	47.	②
8.	①	18.	②	28.	①	38.	③	48.	①
9.	④	19.	③	29.	④	39.	②	49.	②
10.	③	20.	②	30.	②	40.	①	50.	②

1.

解答 ③

【解説】

「摂氏」という意味に最も近い英単語は③の **Celsius** です。水が 0 度で凍り、100 度で沸騰する温度の単位です。記号は℃で表されます。例えば、「今日の気温は 30 度です」は **The temperature today is 30 degrees Celsius.** と表現します。他の選択肢について、① **Fahrenheit** は「華氏」、② **calorie** は「カロリー」、④ **centimeter** は「センチメートル」です。

◆補足：Celsius は、この目盛りを考案したスウェーデンの天文学者アンデルス・セルシウスの名前に由来します。アメリカなどでは華氏 (**Fahrenheit**) が一般的に使われますが、世界の多くの国では摂氏が標準です。

2.

解答 ①

【解説】

「～に頼る」という意味に最も近い英語表現は①の **rely on** です。助けや支援を求めて、人や物事を信頼することを指します。**upon** は **on** よりもフォーマルな響きがあります。例えば、「彼はいつも他人に頼っている」のように使います。他の選択肢について、② **carry on** は「～を続ける」、③ **put on** は「～を着る」、④ **get on** は「～に乗る」という意味です。

◆補足：**rely on** ～ の類義語として、**depend on** ～ や **count on** ～ があります。形容詞形は **reliable** (信頼できる)、名詞形は **reliance** (依存) です。

3.

解答 ③

【解説】

英単語「string」は、「ひも、糸」という意味の名詞です。物を結んだり、束ねたりするのに使う細い縄を指します。例えば、「凧糸」は **kite string** と表現します。選択肢①「バネ」は **spring**、②「強い」は形容詞の **strong**、④「条、しま模様」は **stripe** です。

◆補足：string は、ヴァイオリンなどの「弦楽器」の弦や、「一連の」という意味でも使われます（例：a string of successes 一連の成功）。動詞としては、「～をひもで結ぶ」という意味があります。

4.

解答 ④

【解説】

英単語「row」/rou/（ロウ）は、「列」という意味の名詞です。人や物が横一列に並んでいる状態を指します。例えば、「前の列」は **the front row** と表現します。選択肢①「生の」は **raw** /rɔ:/、②「法律」は **law** /lɔ:/、③「低い」は **low** /lou/ で、発音が似ている単語に注意が必要です。

◆補足：row には、/rau/（ラウ）という全く別の発音もあり、その場合は「口論」という意味の名詞になります。また、動詞としては /rou/ の発音で「（ボート）を漕ぐ」という意味も持つ多義語です。**in a row**（連続で）という熟語も重要です。

5.

解答 ③

【解説】

英単語「degree」は、「程度、度合い」という意味の名詞です。物事のレベルや量を指します。また、温度や角度の単位である「度」や、大学の「学位」といった意味も持ちます。選択肢①「同意する」は動詞の **agree**、②「劣化する」は動詞の **degrade**、④「遅らせる」は動詞の **delay** です。

◆補足：a high degree of ～（高度な～）や to some degree（ある程度まで）といった表現は頻出です。様々な意味を持つ多義語なので、文脈に合わせて意味を判断することが大切です。

6.

解答 ②

【解説】

英単語「monument」は、「記念碑、記念物」という意味の名詞です。歴史上の重要な人物や出来事を、後世に伝えるために建てられる建造物や像を指します。例えば、「戦没者慰霊碑」は **a war**

monument と表現します。選択肢①「瞬間」は moment、③「怪物」は monster、④「運動」は movement です。

◆補足：monument の語源は、「思い出させる」を意味するラテン語の monere です。memory（記憶）とも同じルーツを持っています。形容詞形は monumental（記念碑的な、非常に重要な）です。

7.

解答 ④

【解説】

「幸運、財産」という意味に最も近い英単語は④の fortune です。①偶然や運、特に良い運（幸運）、②人が持つ多額のお金や資産（財産）という二つの主要な意味を持ちます。他の選択肢について、① fountain は「噴水」、② feature は「特徴」、③ future は「未来」です。

◆補足：fortune の形容詞形は fortunate（幸運な）です。make a fortune（大金を稼ぐ）や fortune-telling（占い）といった表現も重要です。

8.

解答 ①

【解説】

「伝説」という意味に最も近い英単語は①の legend です。大昔から伝わる、真実かどうかは分からない古い物語を指します。例えば、「アーサー王の伝説」は the legend of King Arthur と表現します。他の選択肢について、② leisure は「余暇」、③ lesson は「授業」、④ level は「水準」です。

◆補足：legend は、非常に有名で多くの人々から尊敬される人物を指して、「伝説的人物」という意味で使われることもあります（例：a living legend 生ける伝説）。形容詞形は legendary（伝説的な）です。

9.

解答 ④

【解説】

「宗教的な」という意味に最も近い英単語は④の religious です。宗教に関すること、あるいは信仰心が厚いことを示します。例えば、「宗教的儀式」は a religious ceremony と表現します。他の選択肢について、① regional は「地域の」、② regular は「規則的な」、③ ridiculous は「ばかげた」という意味です。

◆補足：religious の名詞形は religion（宗教）です。atheist（無神論者）や agnostic（不可知論者）といった関連語も、より高度な文章では見かけることがあります。

10.

解答 ③

【解説】

英単語「tough」は、「困難な、骨の折れる」や「丈夫な、頑丈な」といった意味を持つ形容詞です。

①課題などが難しくて大変な様子 (a tough problem)、②物が頑丈で壊れにくい様子 (tough material) の両方を表します。選択肢①「厳しい」は strict、②「～だけれども」は though、④「教えた」は動詞 teach の過去形 taught で、いずれも発音やスペルが似ているため注意が必要です。

◆補足：tough は、精神的に「たくましい、屈しない」という意味で人を表すこともあります。a tough decision (難しい決断) のようにも使われる、幅広い意味を持つ単語です。

11.

解答 ②

【解説】

英単語「particularly」は、「特に、とりわけ」という意味の副詞です。多くのものの中から特定の一つを強調したり、通常以上であることを示したりする際に使われます。例えば、「私は夏が好きだが、特に8月が好きだ」のように使います。選択肢①「部分的に」は partially、③「辛抱強く」は patiently、④「永久に」は permanently です。

◆補足：particularly は、類義語の especially とほぼ同じ意味で使えますが、よりフォーマルな響きを持つことがあります。形容詞形は particular (特定の) で、熟語 in particular も「特に」という意味で使われます。

12.

解答 ③

【解説】

「～を明らかにする、暴露する」という意味に最も近い英単語は③の reveal です。それまで秘密にされていた、あるいは知られていなかった情報や事実を公にすることです。例えば、「秘密を明らかにする」は reveal a secret と表現します。他の選択肢について、①revive は「～を復活させる」、②review は「～を見直す、復習する」、④rebel は「反逆する」という意味です。

◆補足：reveal の語源は、ラテン語の re- (反対) + velum (ベール) で、「ベールを取り去る」というイメージが核となっています。名詞形は revelation (暴露、啓示) です。対義語は conceal (～を隠す) です。

13.

解答 ④

【解説】

「～を続ける」という意味に最も近い英単語は④の **continue** です。中断せずに何かを続けること、あるいは中断した後に再び始めることを指します。例えば、「雨は一日中降り続いた」のように使います。他の選択肢について、① **contain** は「～を含む」、② **contribute** は「～に貢献する」、③ **conclude** は「～と結論づける」という意味です。

◆補足：continue の後には、to 不定詞と動名詞（-ing）のどちらも続けることができます。名詞形は **continuation**（継続）、形容詞形には **continuous**（途切れのない）と **continual**（断続的だが頻繁な）があり、ニュアンスの違いが重要です。

14.

解答 ②

【解説】

英単語「**tradition**」は、「伝統、しきたり」という意味の名詞です。ある社会や集団の中で、長い間にわたって受け継がれてきた信念、行動様式、慣習などを指します。例えば、「日本の伝統」は **Japanese tradition** と表現します。選択肢①「翻訳」は **translation**、③「輸送」は **transportation**、④「取引」は **transaction** です。

◆補足：tradition の形容詞形は **traditional**（伝統的な）です。by tradition（伝統に従って）という副詞句もよく使われます。

15.

解答 ④

【解説】

英単語「**ceremony**」は、「式典、儀式」という意味の名詞です。結婚、卒業、開会など、特別な機会に行われる、形式にのっとった公の行事を指します。例えば、「卒業式」は **a graduation ceremony**、「開会式」は **an opening ceremony** と表現します。選択肢①「化学」は **chemistry**、②「世紀」は **century**、③「桜」は **cherry (blossom)** です。

◆補足：ceremony の形容詞形は **ceremonial**（儀式的な）です。master of ceremonies (MC) は「司会者」を意味します。

16.

解答 ①

【解説】

「身元、正体」という意味に最も近い英単語は①の **identity** です。ある人が誰であるかということ、またはその人たらしめる固有の性質を指します。例えば、「身分証明書」は **an identity card (ID card)**

と表現します。他の選択肢について、② **idea** は「考え」、③ **ideal** は「理想」、④ **idiom** は「慣用句」です。

◆補足：identity の動詞形は identify（～を特定する、～と同一であると見なす）です。identity crisis（アイデンティティの危機）のように、心理学や社会学の文脈でも使われる重要な単語です。

17.

解答 ③

【解説】

英単語「**pattern**」は、「模様、様式、パターン」という意味の名詞です。線や形、色が規則的に配置されたデザインや、物事が行われる特定のやり方を指します。例えば、「行動様式」は a behavior pattern、「水玉模様」は a polka dot pattern と表現します。選択肢①「両親」は parents、②「患者」は patient、④「参加者」は participant です。

◆補足：pattern は、良いことにも悪いことにも使われます（例：a pattern of success 成功のパターン、a pattern of mistakes ミスのパターン）。

18.

解答 ②

【解説】

英語表現「**due to** ～」は、「～が原因で、～のために」という意味です。ある事柄の理由や原因を示す際に使われる前置詞句です。例えば、「試合は雨のため延期された」は The game was postponed due to the rain. と表現します。選択肢①「～にもかかわらず」は in spite of ～、③「～に加えて」は in addition to ～、④「～の代わりに」は instead of ～ です。

◆補足：due to ～ は、because of ～ や owing to ～ とほぼ同じ意味で使えます。元々は The accident was due to carelessness. のように、be 動詞の補語として使われるのが正式とされていましたが、現代では文頭で副詞的に使われることも一般的です。

19.

解答 ③

【解説】

「～を台無しにする」という意味に最も近い英単語は③の **spoil** です。何かを破壊したり、その価値や楽しさを減らしたりすることを指します。例えば、「雨が私たちのピクニックを台無しにした」のように使います。他の選択肢について、① **soil** は「土壌」、② **boil** は「沸騰する」、④ **split** は「～を割る」という意味です。

◆補足：spoil は、「(子供) を甘やかしてダメにする」や、「(食べ物) が腐る」といった意味でも使われる多義語です。類義語の **ruin** とほぼ同じ意味で使えます。

20.

解答 ②

【解説】

「組合、連合」という意味に最も近い英単語は②の **union** です。労働者の権利や利益を守るために結成された「労働組合」や、複数の国や団体が一つになった「連合」を指します。例えば、「欧州連合」は **the European Union** と呼ばれます。他の選択肢について、① **onion** は「玉ねぎ」、③ **opinion** は「意見」、④ **uniform** は「制服」です。

◆補足：**union** の語源は、ラテン語で「1」を意味する **unus** です。**unit**（単位）や **unite**（団結する）と同じルーツを持ち、「一つになること」が核となるイメージです。

21.

解答 ①

【解説】

「～の跡を継ぐ、～の次に起こる」という意味に最も近い英単語は①の **follow** です。「～の後についていく」という意味の他に、時間や順序が「～の次である」ことや、役職や地位を「引き継ぐ」ことを示します。他の選択肢について、② **hollow** は「空洞の」、③ **swallow** は「～を飲み込む」、④ **borrow** は「～を借りる」です。

◆補足：**as follows**（次の通り）という熟語は非常に重要です。また、**The speech was followed by dinner.**（スピーチの後に夕食があった）のように、受動態で使われることも多いです。

22.

解答 ①

【解説】

「災害」という意味に最も近い英単語は①の **disaster** です。地震、洪水、火事など、大きな損害や被害をもたらす突然の出来事を指します。例えば、「自然災害」は **a natural disaster** と表現します。他の選択肢について、② **disease** は「病気」、③ **disorder** は「無秩序、障害」、④ **distance** は「距離」です。

◆補足：**disaster** の語源は、イタリア語の **disastro** で、**dis-**（悪い）+ **astro**（星）から成り立っています。昔の人が、星の巡りが悪いと災いが起こると考えていたことに由来します。形容詞形は **disastrous**（悲惨な）です。

23.

解答 ④

【解説】

英単語「cord」は、「ひも、コード」という意味の名詞です。①物を縛るための、糸よりは太いひも、②電化製品を電源につなぐための電線を指します。例えば、「延長コード」は **an extension cord** と表現します。選択肢①「カード」は **card**、②「中庭、法廷」は **court**、③「費用」は **cost** です。

◆補足：cord は、string（より細い糸、ひも）、rope（より太い綱、ロープ）、wire（針金）などと太さや材質で使い分けられます。また、the spinal cord（脊髄）や the vocal cords（声帯）のように、体内のひも状の器官を指す言葉としても使われます。

24.

解答 ③

【解説】

「～する準備ができている」という意味に最も近い英語表現は③の **be ready to do** です。何かを始めるための用意が整っている状態を表します。例えば、「私たちはいつでも出発できる準備ができている」のように使います。他の選択肢について、① **be able to do** は「～することができる（能力）」、② **be willing to do** は「進んで～する（意志）」、④ **be about to do** は「まさに～しようとしている（直前）」を意味し、ニュアンスが異なります。

◆補足：ready は、to 不定詞だけでなく、for + 名詞の形もとります（例：be ready for the test テストの準備ができている）。

25.

解答 ③

【解説】

英語表現「**be considered to do**」は、「～すると考えられている、～と見なされている」という意味です。多くの人々によって、ある事柄が特定の性質を持つ、あるいは特定のものであるとされていることを示します。例えば、「彼はその分野の専門家だと考えられている」のように使います。選択肢①「～することに同意する」は **agree to do**、②「～するのを拒む」は **refuse to do**、④「～しようと試みる」は **attempt to do** です。

◆補足：この表現は、動詞 **consider**（～を…と見なす）の受け身の形です。It is considered that ... の形で使われることもあります。

26.

解答 ②

【解説】

「(特定の) 時、機会」という意味に最も近い英単語は②の **occasion** です。何かが起こる特定の時点や、特別な行事を指します。例えば、「お祝いの席で」は **on a festive occasion** と表現します。他の選択肢について、① **ocean** は「海洋」、③ **opinion** は「意見」、④ **occupation** は「職業」です。

◆**補足**：**occasion** の形容詞形は **occasional** (時折の)、副詞形は **occasionally** (時々) です。**on this occasion** (この機会に) や **on occasion** (時々) といった前置詞句もよく使われます。

27.

解答 ②

【解説】

英単語「**scarce**」は、「乏しい、不十分な」という意味の形容詞です。必要とされる量に対して、物や資源などが足りていない状態を表します。例えば、「水が乏しい」は **Water is scarce.** と表現します。選択肢①「怖い」は **scary**、③「傷跡」は名詞の **scar**、④「場面」は名詞の **scene** です。

◆**補足**：**scarce** の名詞形は **scarcity** (欠乏、希少性) です。類義語の **rare** は、元々の数が少ない「珍しい」というニュアンスが強いのにに対し、**scarce** は需要に対して供給が「不足している」という経済的な意味合いで使われることが多いです。

28.

解答 ①

【解説】

「(船で) 航行する」という意味に最も近い英単語は①の **sail** です。帆船だけでなく、あらゆる種類の船が水上を進むことを指します。例えば、「世界中を航行する」は **sail around the world** と表現します。他の選択肢について、② **fail** は「失敗する」、③ **sell** は「～を売る」、④ **save** は「～を救う、～を節約する」という意味です。

◆**補足**：**sail** は名詞としては「帆」を意味し、**sailing** (セーリング) や **sailor** (船乗り) といった関連語があります。

29.

解答 ④

【解説】

英単語「**worship**」は、動詞として「～を崇拝する」という意味です。神に対する強い敬意と愛情を示し、祈ったり儀式を行ったりすることを指します。例えば、「古代の人々は太陽を崇拝した」のように使います。選択肢①「～とささやく」は **whisper**、②「～を包む」は **wrap**、③「～を台無しにする」は **wreck** や **ruin** です。

◆**補足**：**worship** は、名詞としても「崇拝、礼拝」という意味で使われます。また、比喩的に、特定の人や物事を過度に敬愛する、という意味で使われることもあります。

30.

解答 ②

【解説】

「(証拠なしに) ～と思い込む、～を当然のことと考える」という意味に最も近い英単語は②の **assume** です。確かな証拠がないまま、何かを真実だと仮定することを指します。例えば、「彼は来ないものと思っていた」のように使います。他の選択肢について、① **assure** は「～に保証する」、③ **amuse** は「～を楽しませる」、④ **achieve** は「～を達成する」という意味です。

◆補足：**assume** の名詞形は **assumption** (憶測、仮定) です。類義語の **suppose** や **guess** よりも、より根拠が薄い「思い込み」というニュアンスを含むことがあります。

31.

解答 ④

【解説】

英単語「**regularly**」は、「定期的に、規則正しく」という意味の副詞です。毎日、毎週、毎月など、一定の間隔を置いて物事が繰り返される様子を表します。例えば、「定期的に運動する」は **exercise regularly** と表現します。選択肢①「相対的に」は **relatively**、②「ためらって」は **reluctantly**、③「最近」は **recently** です。

◆補足：**regularly** は、形容詞 **regular** (規則的な、普通の) から派生した副詞です。対義語は **irregularly** (不規則に) です。

32.

解答 ②

【解説】

英単語「**economy**」は、「経済」という意味の名詞です。国や地域の、富の生産・分配・消費に関わるシステム全体を指します。例えば、「日本経済」は **the Japanese economy** と表現します。選択肢①「生態系」は **ecosystem**、③「教育」は **education**、④「環境」は **environment** です。

◆補足：**economy** に関連する形容詞には **economic** (経済の) と **economical** (経済的な、お得な) があり、意味が異なるため注意が必要です。経済学は **economics**、経済学者は **economist** と言います。

33.

解答 ②

【解説】

英単語「rural」は、「田舎の、田園の」という意味の形容詞です。都会から離れた、農業や自然が中心の地域を指します。例えば、「田舎暮らし」は **rural life** と表現します。選択肢①「都会の」は **urban** で、**rural** の明確な対義語です。③「王室の」は **royal**、④「現実の」は **real** です。

◆補足：**rural** と **urban** は対で覚えることが非常に重要です。**a rural area**（田舎の地域）のように使われます。

34.

解答 ②

【解説】

英単語「**unknown**」は、「不明の、知られていない」という意味の形容詞です。知られていない、あるいは見覚えがないことを示します。例えば、「送り主不明の手紙」は **a letter from an unknown sender** と表現します。選択肢①「親切でない」は **unkind**、③「ありそうもない」は **unlikely**、④「不安定な」は **unstable** です。

◆補足：**unknown** は、否定の接頭辞 **un-** と、動詞 **know** の過去分詞形 **known**（知られた）が組み合わさった言葉です。名詞として「未知のもの、無名の人」を指すこともあります。

35.

解答 ④

【解説】

「借金」という意味に最も近い英単語は④の **debt** です。返済する義務のあるお金を指します。例えば、「借金を返済する」は **pay off a debt** と表現します。他の選択肢について、① **doubt** は「疑い」、② **deal** は「取引」、③ **death** は「死」です。

◆補足：**debt** の発音は **/det/** で、**b** の音は発音しない黙字である点に注意が必要です。**in debt** は「借金をしている」状態を表す重要な熟語です。

36.

解答 ③

【解説】

英単語「**growth**」は、「成長、発展」という意味の名詞です。人や生物が大きくなることや、数量・規模が増加することを指します。例えば、「人口の増加」は **population growth** と表現します。選択肢①「幽霊」は **ghost**、②「ヤギ」は **goat**、④「目標」は **goal** です。

◆補足：**growth** は、動詞 **grow**（成長する、～を栽培する）の名詞形です。経済の文脈で使われる **economic growth**（経済成長）は、ニュースなどで頻出する重要な複合語です。

37.

解答 ④

【解説】

「実際には」という意味に最も近い英単語は④の **actually** です。予想や外見とは異なる、本当の状況を強調する際に使われます。例えば、「彼は厳しそうに見えるが、実際にはとても親切だ」のように使います。他の選択肢について、① **accidentally** は「偶然に」、② **annually** は「毎年」、③ **accurately** は「正確に」という意味です。

◆**補足**：**actually** は、**in fact** や **in reality** といった表現と似ており、会話で相手の発言を訂正したり、意外な情報を付け加えたりする際に非常に頻繁に使われます。形容詞形は **actual**（実際の）です。

38.

解答 ③

【解説】

英単語「**advance**」は、名詞として「進歩、前進」という意味です。技術や知識などが発展することを指します。例えば、「科学技術の進歩」は **advances in science and technology** と表現します。選択肢①「冒険」は **adventure**、②「利点」は **advantage**、④「忠告」は **advice** です。

◆**補足**：**advance** は動詞としても使われ、「進む、～を進める」という意味になります。形容詞形は **advanced**（進んだ、上級の）です。**in advance**（前もって、あらかじめ）という副詞句は非常に重要です。

39.

解答 ②

【解説】

英単語「**nearly**」は、「ほとんど、ほぼ」という意味の副詞です。完全ではないが、それに非常に近い状態であることを示します。例えば、「仕事はほとんど終わった」は **The work is nearly finished.** と表現します。選択肢①「きれいに」は **neatly**、③「近くに」は **near**、④「新たに」は **newly** です。

◆**補足**：**nearly** は、**almost** とほぼ同じ意味で、互換的に使えることが多いです。形容詞の **near**（近い）から派生した副詞ですが、「近くに」という意味ではなく「ほとんど」という意味になる点に注意が必要です。

40.

解答 ①

【解説】

「～を結ぶ」という意味に最も近い英単語は①の **tie** です。ひもやロープなどで何かを固く縛ることを指します。例えば、「靴ひもを結ぶ」は **tie one's shoelaces** と表現します。他の選択肢について、② **lie** は「横たわる、嘘をつく」、③ **die** は「死ぬ」、④ **try** は「試す」という意味です。

◆補足：**tie** は名詞としてもよく知られており、「ネクタイ」や「結びつき、絆」といった意味を持ちます。**tie the knot**（結婚する）という慣用句も覚えておくと良いでしょう。

41.

解答 ④

【解説】

「不足、欠乏」という意味に最も近い英単語は④の **lack** です。必要なものが無い、あるいは十分な量がない状態を指す名詞です。**a lack of ～** の形で使われることが非常に多いです。他の選択肢について、① **luck** は「運」、② **lock** は「錠」、③ **rack** は「棚」という意味で、発音が似ているため注意が必要です。

◆補足：**lack** は動詞としても使われ、「～を欠いている」という意味になります。例えば、**He lacks confidence.**（彼は自信を欠いている）のように使います。

42.

解答 ④

【解説】

「警備員、護衛」という意味に最も近い英単語は④の **guard** です。人や場所を危険から守ることを仕事とする人を指します。例えば、「警備員は夜間、建物を巡回する」のように使います。他の選択肢について、① **guide** は「案内人、ガイド」、② **guest** は「客」、③ **ghost** は「幽霊」です。

◆補足：**guard** は動詞としても使われ、「～を守る、警備する」という意味になります。**a security guard** は、より具体的に「警備保障会社の警備員」を指します。

43.

解答 ②

【解説】

「程度、範囲」という意味に最も近い英単語は②の **extent** です。物事の規模、重要性、深刻さなどの度合いを指します。例えば、「被害の程度」は **the extent of the damage** と表現します。他の選択肢について、① **intent** は「意図」、③ **event** は「出来事」、④ **exit** は「出口」です。

◆補足：**to some extent**（ある程度まで）や **to a large extent**（大部分は）といった副詞句は、意見を述べたり、状況を評価したりする際に頻繁に使われる重要な表現です。

44.

解答 ②

【解説】

英単語「cliff」は、「崖、断崖」という意味の名詞です。特に、海岸や山にある、非常に険しく切り立った岩壁を指します。例えば、「崖から落ちる」は **fall off a cliff** と表現します。選択肢①「職員」は **staff**、③「顧客」は **client**、④「船長」は **captain** です。

◆補足：cliffhanger という言葉は、物語や映画などで、続きが気になるハラハラする場面を指す言葉として使われます。これは、主人公が「崖（cliff）にぶら下がっている（hang）」ような、絶体絶命の状況で終わる連続活劇に由来しています。

45.

解答 ②

【解説】

英単語「existence」は、「存在、実在」という意味の名詞です。人や物事が、実際にそこにある状態を指します。例えば、「神の存在を信じる」は **believe in the existence of God** と表現します。選択肢①「出口」は **exit**、③「運動」は **exercise**、④「経験」は **experience** です。

◆補足：existence は、動詞 **exist**（存在する）の名詞形です。**come into existence**（出現する、生まれる）という表現もよく使われます。

46.

解答 ②

【解説】

英単語「tribe」は、「部族」という意味の名詞です。共通の言語や文化、歴史を持ち、共に生活する人々の集団を指します。例えば、「アフリカの部族」は **an African tribe** と表現します。選択肢①「賄賂」は **bribe**、③「管」は **tube**、④「冗談」は **jibe** や **joke** です。

◆補足：tribe の形容詞形は **tribal**（部族の）です。現代では、比喩的に「（共通の興味を持つ人々の）仲間、集団」といった意味で使われることもあります。

47.

解答 ②

【解説】

英単語「earnings」は、「所得、稼ぎ」という意味で、常に複数形で使われる名詞です。仕事をして得るお金を指します。例えば、「年間所得」は **annual earnings** と表現します。選択肢①「イヤリング」

は earnings で、発音が似ているため注意が必要です。③「初期」は early、④「地球」は earth です。

◆補足：earnings は、動詞 earn（～を稼ぐ）から派生した名詞です。income（収入）や、wages/salary（賃金/給料）とほぼ同じ意味で使われます。企業の「収益」を指すこともあります。

48.

解答 ①

【解説】

「（～より）優れた」という意味に最も近い英単語は①の superior です。質や能力などが、平均や他のものよりも良いことを示します。例えば、「この製品は競合他社のものより優れている」のように使います。他の選択肢について、② senior は「年上の、先輩の」、③ serious は「深刻な、真面目な」、④ superficial は「表面的な」という意味です。

◆補足：superior は、比較対象を示す際に than ではなく to を用いる（superior to ～）という重要な特徴があります。このようなラテン語由来の比較級（inferior, senior, junior など）は、to を伴うと覚えておきましょう。対義語は inferior（より劣った）です。

49.

解答 ②

【解説】

「名誉、敬意」という意味に最も近い英単語は②の honor です。賞賛に値する人に対して示される尊敬の念や、高い評価を受けている状態を指します。例えば、「～に敬意を表して」は in honor of ～ と表現します。他の選択肢について、① horror は「恐怖」、③ humor は「ユーモア」、④ owner は「所有者」です。

◆補足：honor は、イギリス英語では honour と綴ります。動詞としても使われ、「～に敬意を表す、～を称える」という意味になります。形容詞形は honorable（名誉ある）です。

50.

解答 ②

【解説】

英単語「trial」は、「裁判」と「試み」という二つの主要な意味を持つ名詞です。①法廷で有罪か無罪かを決定する公式な手続き（裁判）、②新しい物や方法が効果的かどうかを試すこと（試み、試験）の両方を指します。選択肢①「小道」は trail で、発音が似ているため注意が必要です。③「旅行」は travel、④「三角形」は triangle です。

◆補足：trial は、動詞 try（試す）の名詞形です。trial and error（試行錯誤）は頻出の表現です。a clinical trial（臨床試験）のように、医学の文脈でも使われます。

